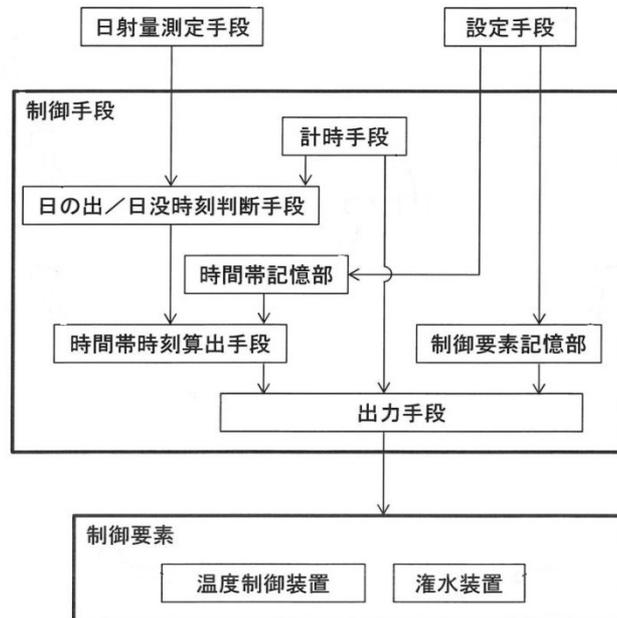


業務用機械

季節を問わず最適な生育環境に設定可能な農業用環境制御装置

発明の名称	農業用環境制御装置		
出願人/権利人	株式会社オーガニックnico	発明者	中村 新
出願日	平成28年11月15日	出願番号	2016-222487
公開番号	2018-78818	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図



発明の概要

農業用ハウスでの温度制御や灌水時刻制御を行うことができる農業用環境制御装置

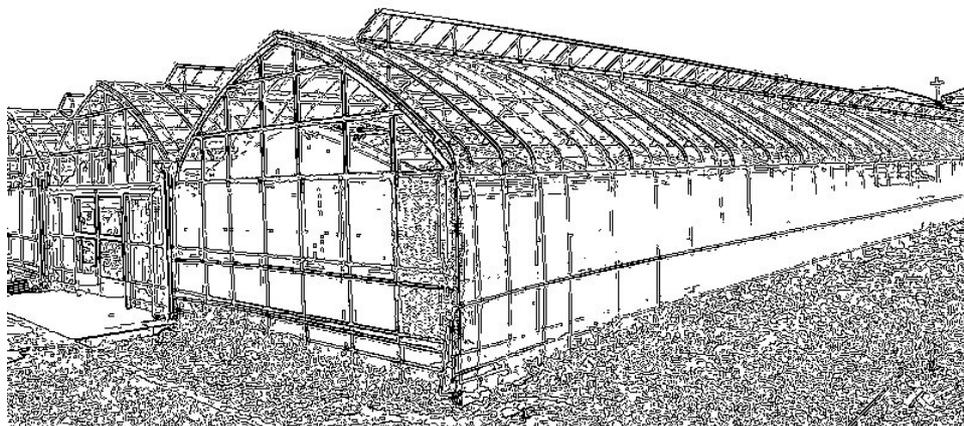
特徴

農業用環境制御装置は、少なくとも日射量を測定する日射量測定手段と、日射量測定手段で測定した日射量又は日射量の変化から、一日を複数に区分した時間帯の時刻を算出する制御手段とを備えている。制御手段では、算出した時刻によって、時間帯に応じて設定している制御要素を制御するものである。本発明では、日射量又は日射量の変化から一日を複数に区分した時間帯の時刻を算出し、これらの時間帯に応じて設定している制御要素を制御することで、季節に応じて時間変更の設定作業を行うことなく、植物の生理現象に合わせた制御を行うことができる。

関連分野

農林水産、建設・土木、放送・通信

応用の可能性



ハウス栽培



植物工場



廃校・廃施設利用栽培

など

応用の可能性

- ・ハウス栽培
 - ・植物工場
 - ・廃校・廃施設利用栽培
- など

本技術の活用が見込める企業の一例

- | | |
|--------------------|------------|
| ・株式会社バイテックホールディングス | ・株式会社スプレッド |
| ・大阪堺植物工場株式会社 | ・富士電機株式会社 |
| ・昭和電工株式会社 | ・伊東電機株式会社 |
| ・鹿島建設株式会社 | ・農業協同組合 |
| ・オリックス農業株式会社 | ・地方自治体 |
- など

株式会社オーガニックnicoの本発明に関する最新動向

- ・同社のホームページ(<http://organic-nico.com/>)には本願に関連する情報の掲載は見られず、目立った動きも見受けられない。